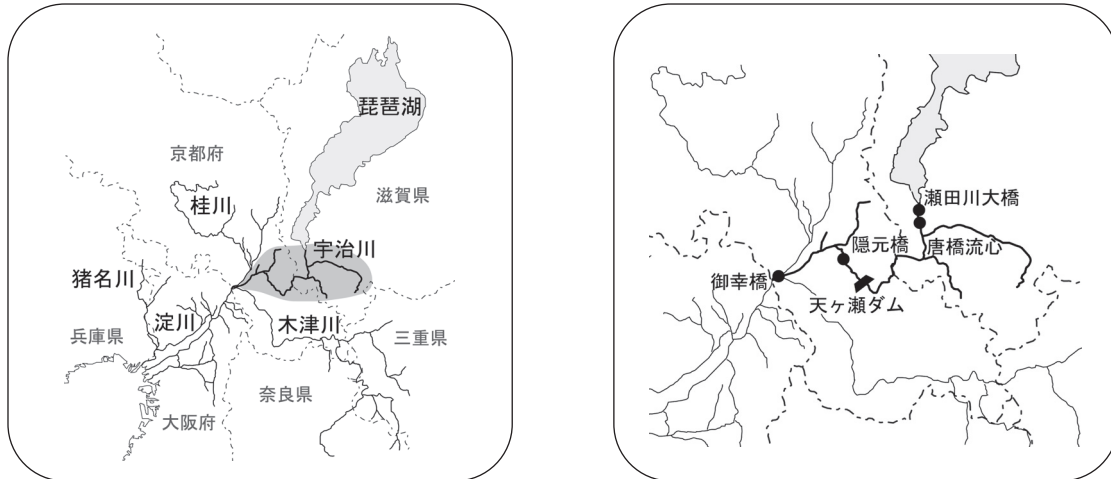


3. 宇治川

宇治川は琵琶湖から流れ出る河川で、上流域の一部は瀬田川と呼ばれている。上流域には天ヶ瀬ダム（昭和 39 年完成）が位置しており、琵琶湖の水質の影響を受けている。

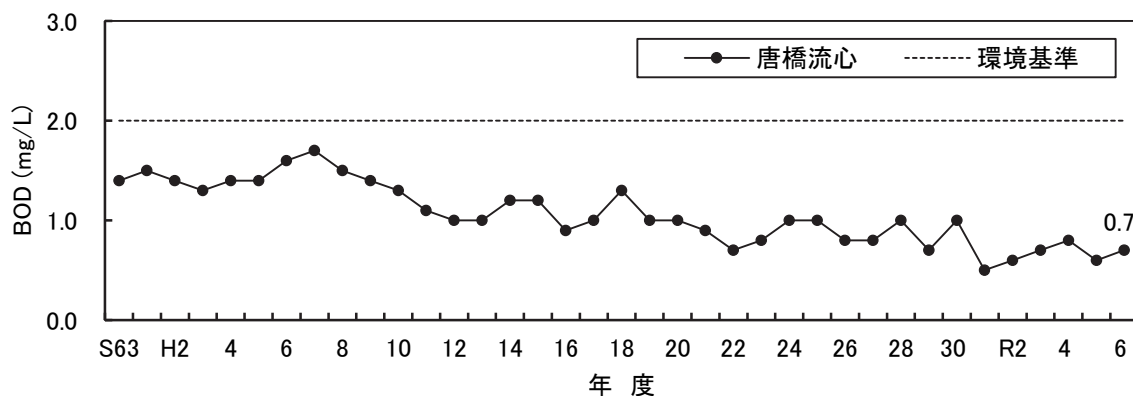
宇治川は昭和 50 年代に水質が悪化したが、上流は急速に改善され、下流は昭和 60 年代に徐々に改善されている。その後は横ばい状態にあり、上・下流とも環境基準を達成し続けている。



(1) 瀬田川

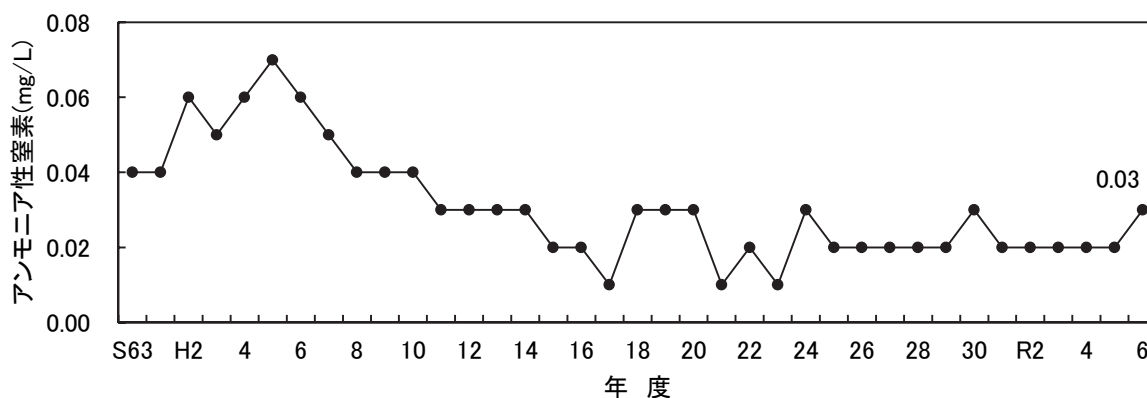
BOD（75%値）は減少傾向にあり、昭和 59 年以降は環境基準以下で推移している。令和 6 年度は 0.7mg/L と環境基準値（2.0mg/L）を達成している（図 3-26）。

アンモニア性窒素（年平均値）も昭和 61 年度以降 0.02～0.06mg/L の低い値で推移しており、令和 6 年度は 0.03mg/L であった（図 3-27）。水温（年平均値）については昭和 50 年代後半に比べ近年では高い傾向が見られる（図 3-28）。



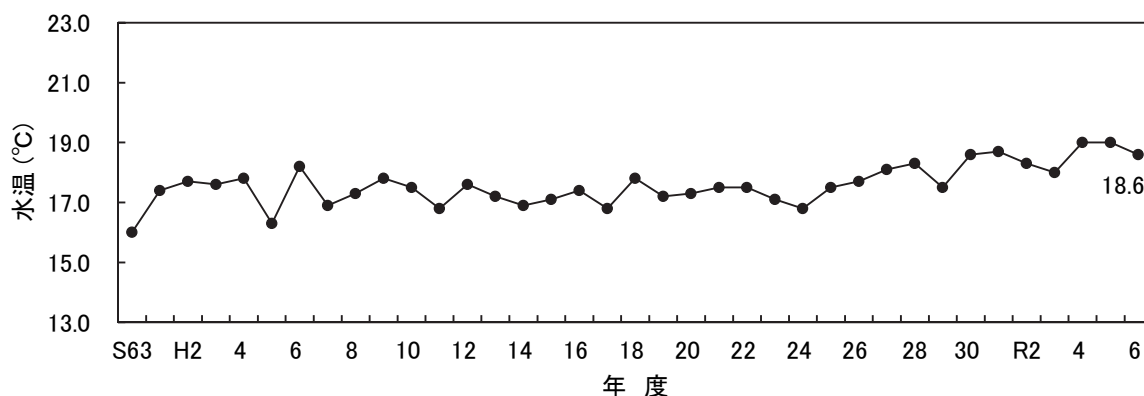
【図 3-26 瀬田川(唐橋流心)の BOD(75%値)の推移】

注) 報告下限値未満の数値は報告下限値の数値として扱い、75%値を求める。



【図 3-27 瀬田川(唐橋流心)のアンモニア性窒素(年平均値)の推移】

注) 月毎の数値から年平均値を求める。報告下限値未満の数値は、報告下限値の数値として扱う。



【図 3-28 瀬田川(唐橋流心)の水温(年平均値)の推移】

注) 採取水深(図 3-26~28): 0.5m地点

注) 本紙掲載の値は、各年度のデータ集計時点で提供の値で記載
滋賀県「環境白書」より作成

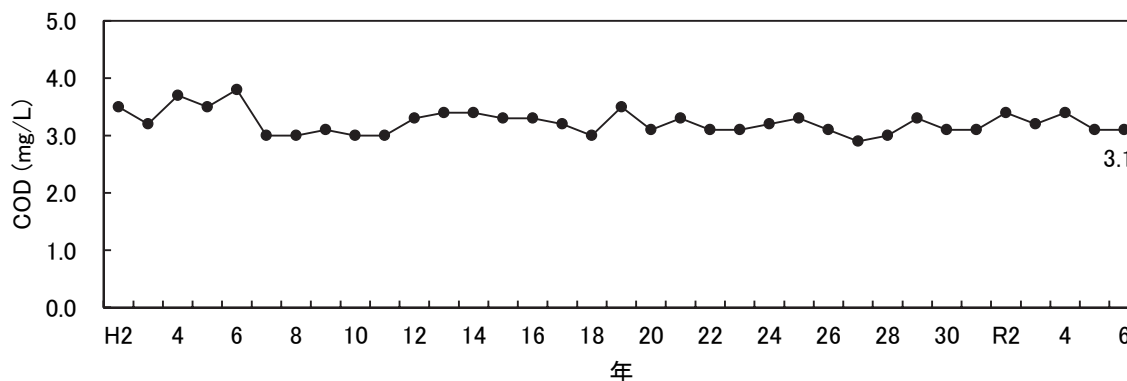
(2) 天ヶ瀬ダム

COD(75%値)は昭和54年ごろから高くなり、その後はおよそ3.0~4.0mg/Lで推移している。令和6年は3.1mg/Lであった(図3-29)。

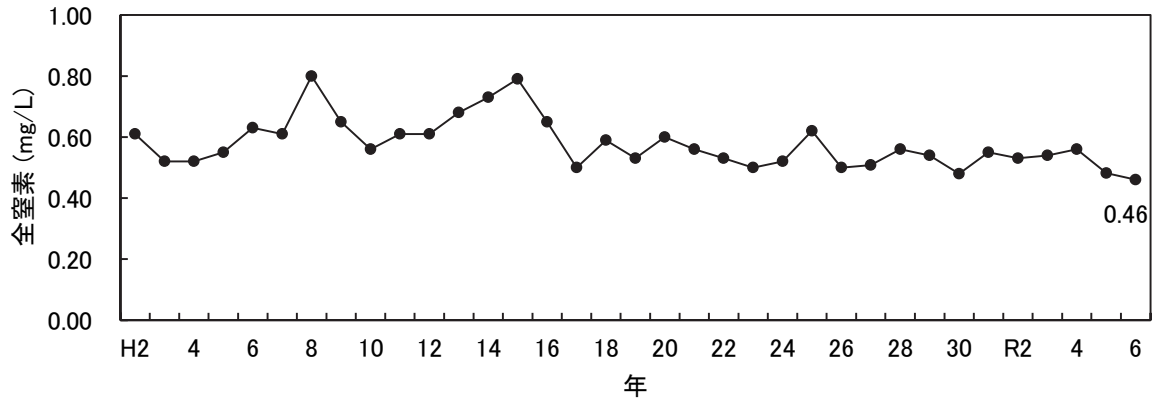
全窒素(年平均値)は昭和50年に1.02mg/L、昭和54年に1.17mg/Lと1mg/Lを超えたが、その後は横ばいで推移している。令和6年は0.46mg/Lであった(図3-30)。

全りん(年平均値)は昭和56年に0.045mg/Lと高い値を示したが、昭和57年以降横ばいで推移しており、令和6年は0.023mg/Lであった(図3-31)。

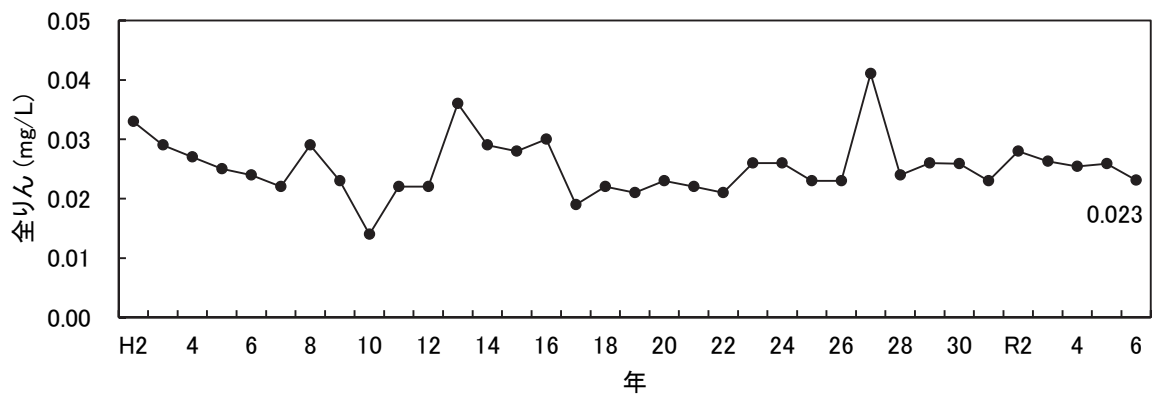
令和6年の水温(年平均値)は19.1°Cであり、平成29年頃より上昇傾向にある(図3-32)。



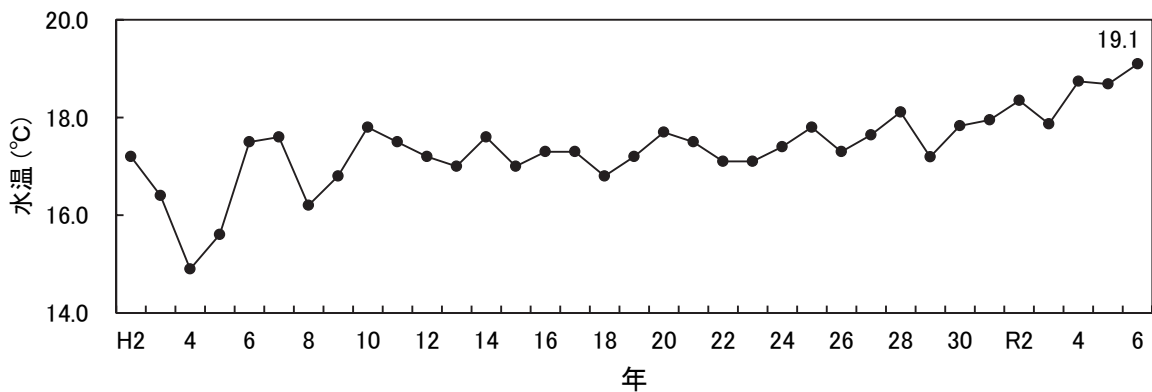
【図 3-29 天ヶ瀬ダム(ダムサイト)のCOD(75%値)の推移】



【図 3-30 天ヶ瀬ダム(ダムサイト)の全窒素(年平均値)の推移】



【図 3-31 天ヶ瀬ダム(ダムサイト)の全りん(年平均値)の推移】



【図 3-32 天ヶ瀬ダム(ダムサイト)の水温(年平均値)の推移】

注 1) 図 3-29～31：表層(0.5m)・1/2 水深・底層(底上 1.0m)の平均値

注 2) 図 3-32：平成 26 年までは水深 0.1m・0.5m・1.0m 地点の平均値、平成 27 年以降は表層(0.5m)の平均値

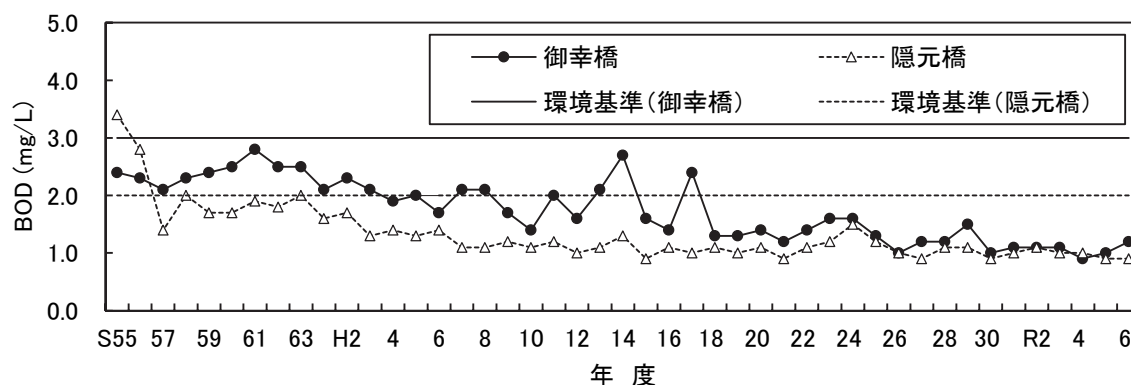
平成 19 年～23 年についてはダム諸量データベースより作成
 平成 9～18 年、24～29 年については国土交通省近畿地方整備局調べ
 平成 30 年～ 国土交通省「水文水質データベース」より作成

(3) 宇治川

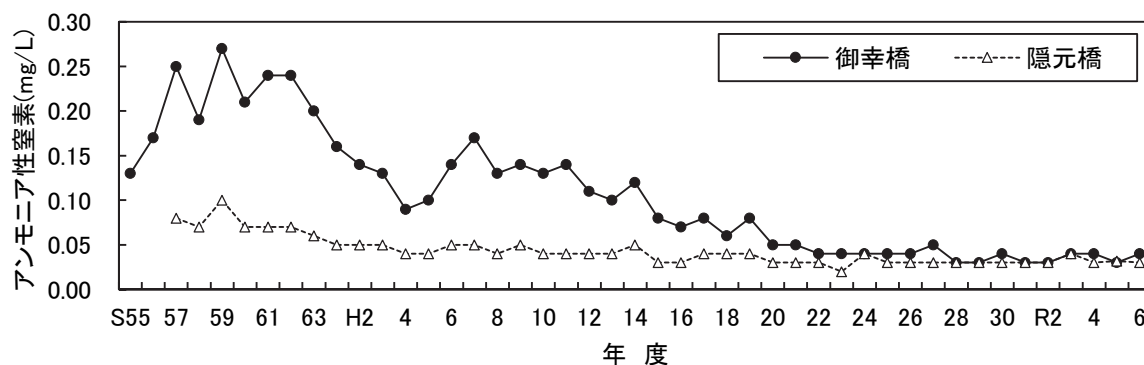
BOD (75%値)は御幸橋で昭和50年度以降減少傾向を示し、令和6年度は1.2mg/Lであった。隠元橋では昭和56年度までその下流の御幸橋より高い値を示したが、その後急速に改善され、令和6年度は0.9mg/Lであった。両地点ともに環境基準値を達成している(図3-33)。

アンモニア性窒素(年平均値)は御幸橋で昭和59年度に0.27mg/Lとなり高い値を示したが、下水道の整備等にもなって、それ以降急速に改善された。その後微増したが、平成8年度からは減少傾向にあり、令和6年度は0.04mg/Lであった。隠元橋では昭和57年度以降は0.10mg/L以下と良好な水質を示しており、その後の改善により、令和6年度は0.03mg/Lであった(図3-34)。

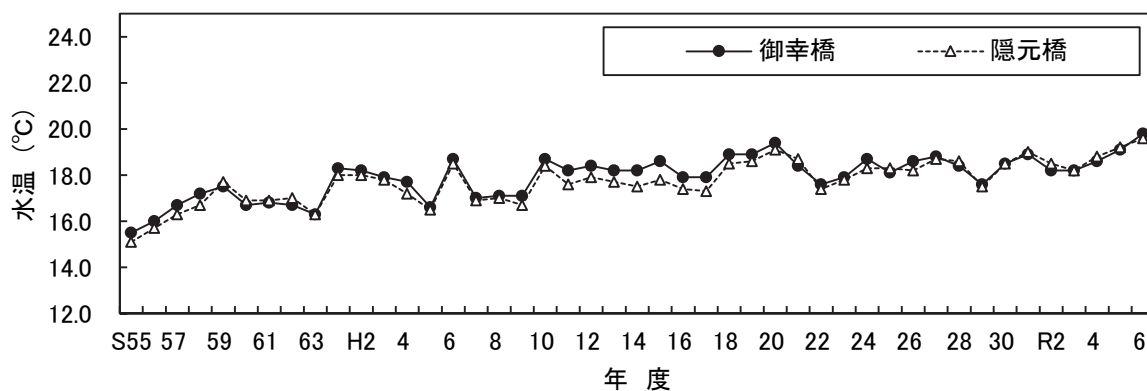
水温(年平均値)については、上昇傾向が見られる(図3-35)。



【図3-33 宇治川のBOD(75%値)の推移】



【図3-34 宇治川のアンモニア性窒素(年平均値)の推移】



【図3-35 宇治川の水温(年平均値)の推移】

注1) 採水地点：水深の2割の水位

注2) アンモニア性窒素の年平均値は、報告下限値以上の日間平均値の年間平均値

京都府「公共用水域及び地下水の水質測定結果」より作成(～R4年度)

京都市公共用水域及び地下水の水質測定結果(R5年度～)

国土交通省 淀川河川事務所「公共用水域の水質データ」より作成(R5年度～)